

a 資本主義の特徴

生産 手段（生産 財）の私有 ・・私有 財産制

経済活動の自由 ・・自由 主義経済）・・企業は利潤 を追求

市場 経済（価格等は市場 で決定）・労働（労働力）の商品化・景気変動

b 資本主義の変容

商業資本主義 16C～18C 後半 1500年頃 囲い込み 運動(エンクロージャー・ムーブメント)
→資本の本源的蓄積
・・賃労働者の創出・資本蓄積

産業資本主義 18C 後半～19C 後半 産業革命 (半ば・末)
自由放任 主義政策 (A・スミス 1760～1830年代 イギリス
＝レッセフェール 1830～1860年代 フランス・米国
『諸国民の富』 (国富論) 後、ドイツ・日本など
「夜警 国家」(国防と治安維持のみを行う)が理想

独占資本主義 19C 後半～20C 初め 不況の長期化・深刻化
自由競争→企業の倒産 →失業・貧困、貧富の差
→独占 ・寡占 (帝国主義 金融資本主義)

修正 資本主義 20C 初め～ 1919 ワイマール 憲法
ケインズ 自由放任を放棄し 初めて生存権を規定
経済に介入すべき 1933 ローズベルト 大統領
『雇用・利子及び貨幣に関する一般理論』 (ル)
「福祉 国家」が理想 ニューディール 政策
TVA など

c 社会主義の特徴

生産手段の公 有（社会 有）・・国有・組合有

計画 経済

社会主義の思想

マルクス 『資本論』、エンゲルス・レーニン・毛沢東

その他

ユートピア社会主義 トマス・モア『ユートピア』
空想的社会主義 オーウェン、サン・シモン・フーリエ

民主社会主義（社会民主主義）

英 労働党←フェビアン協会（ウェップ夫妻、バーナード・ショウ）
独 社会民主党（ベルンシュタイン、ヒルファードイング）
・・議会によって、合法的に社会主義を建設

d 社会主義の変容

旧ソ連

1917 ロシア革命・・レーニン・スターリンら 1918 戦時共産制
1921 新経済政策（NEP）
1928 第一次5か年計画
工業の国有化
農業の集団化（国有農場・・ソフホーズ、協同組合農場・・コルホーズ）

しかし、社会主義には
長所・・不況・倒産・失業・貧困がない（建前上）
短所・・労働者が無気力・怠惰になりやすく、経済効率が悪い
1966 利潤動機方式・・リーベルマン提唱 を採用したが、効果あがらず

1985 ゴルバチョフ 共産党書記長
ペレストロイカ（改革・立て直し）
農業に生産責任制（生産請負制）＝個人農へ
グラスノスチ（情報公開）
1991 保守派クーデター失敗→ソ連解体、ロシア連邦も改革を続行→資本主義化

中国

1949 建国・・毛沢東 ・周恩来ら
工業の国有化と農業の集団化→農村に人民公社

1970年代後半
「改革 ・開放」（鄧小平）・・計画経済から市場 経済・対外経済開放
「四つ の現代化（近代化）（農業・工業・国防・科学技術）」
工業の現代化のため経済特区（4つ→5つ）・・シェンチェン などに
農業では生産責任 制（生産請負制）（ホンコンに接する）
現在では輸出額世界1位、GDP第2位など
30年間で大きく発展

ベトナム

1986 ドイモイ（刷新）の家庭で合作社を廃止し、各農家を経営主体として

2・1・1＋（教pp. 90-91, 172-173 資pp. 190-197）

a 資本主義の特徴

生産手段の私有（私有財産制）
経済活動の自由（自由主義経済）・・企業は利潤を追求
市場経済・労働（労働力）の商品化・景気変動

b 資本主義の変容

商業資本主義 16C～18C後半 1500年頃 囲い込み運動（エンクロージャー・ムーブメント）
→資本の本源的蓄積
・・賃労働者の創出・資本蓄積

産業資本主義 18C後半～19C後半 産業革命 1760～1830年代 イギリス
（半ば・末） 1830～1860年代 フランス・米国
自由放任主義政策（A・スミス） 後、ドイツ・日本など

独占資本主義 19C後半～20C初め 不況の長期化・深刻化
自由競争→企業の倒産 →失業・貧困、貧富の差
→独占・寡占 （帝国主義 金融資本主義）

修正資本主義 20C初め～ 1919 ワイマール憲法
ケインズ 初めて生存権を規定
1933 ローズベルト大統領
（ルーズベルト）
ニューディール政策
TVAなど

c 社会主義の特徴

生産手段の公有（社会有）・・国有・組合有
計画経済

社会主義の思想
マルクス『資本論』、エンゲルス・レーニン・毛沢東

その他
ユートピア社会主義 トマス・モア『ユートピア』

空想的社会主義 オーウェン、サン・シモン・フーリエ

民主社会主義（社会民主主義）
英 労働党←フェビアン協会（ウエップ夫妻、バーナード・ショウ）
独 社会民主党（ベルンシュタイン、ヒルファールディング）
・・議会によって、合法的に社会主義を建設

d 社会主義の変容

旧ソ連
1917 ロシア革命・・レーニン・スターリンら
1918 戦時共産制
1921 新経済政策（NEP）
1928 第一次5か年計画
工業の国有化
農業の集団化（国有農場・・ソフホーズ、協同組合農場・・コルホーズ）

しかし、社会主義には
長所・・不況・倒産・失業・貧困がない（建前上）
短所・・労働者が無気力・怠惰になりやすく、経済効率が悪い
1966 利潤動機方式・・リーベルマン提唱 を採用したが、効果あがらず

1985 ゴルバチョフ共産党書記長
ペレストロイカ（改革・立て直し）
農業に生産責任制（生産請負制）＝個人農へ
グラスノスチ（情報公開）
1991 保守派クーデター失敗→ソ連解体、ロシア連邦も改革を続行→資本主義化

中国
1949 建国・・毛沢東・周恩来ら
工業の国有化と農業の集団化→農村に人民公社

1970年代後半
「改革・開放」（トウ小平）
「4つの現代化（近代化）（農業・工業・国防・科学技術）」
工業の現代化のため経済特区（4つ→5つ）・・シェンチェンなどに
農業では生産責任制（生産請負制）
現在では輸出額世界3位、今年GDP第2位（推測）など
30年間で大きく発展

ベトナム
1986 ドイモイ（刷新）